

記録系プロジェクト
災害関連リンク集

リサーチパートナー 松本承子

発表項目

- 1 リンク集のねらい
- 2 リンク集作成プロセス
- 3 リンク集の概要と特徴
- 4 リンク集の評価・課題
- 5 まとめ(結論と今後)

リンク集のねらい

「被災者」及び「被災自治体」を
含む全ての人に、散在する情報を
分かりやすく提供する。

リンク集作成プロセス(1)

★作業はすべてネット上で実施し、3日間で制作。

日程	作業内容
3月18日(金)	根本先生:リンク集制作者募集メール
3月19日(土)	リンク集制作メーリングリスト立ち上げ
3月20日(日)	リンク集完成
3月21日(月)	リンク集一般公開(大学院のHP) リンク集フォローアップ担当者募集
3月23日(水)	「復興関連」追加
4月6日(水)	リンク集フォローアップ作業開始
4月17日(日)	フォローアップしたリンク集公開

リンク集作成プロセス(2)

～制作者の役割～

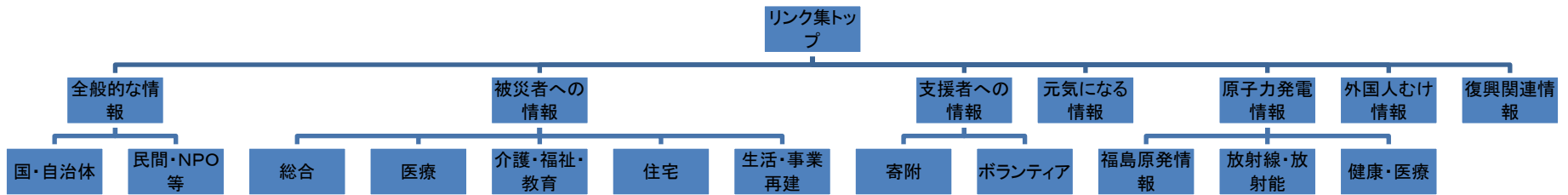
- リンク集全体のコンセプト、デザインについて検討
- リンク集先の検証(リンクフリーであることの確認、公平性を欠くリンク先はないか 等)
- 他に必要なリンク先の追加
- 3グループに分かれた班編成で作成、検討
- Webへの掲載は根本先生が担当

リンク集作成プロセス(3)

- 作成者の強みを活かして情報収集
- 主な情報源はネットから、新聞や雑誌なども活用
- 客観性・正確性のある情報を提供
(一部リンク先に許可を得る)
- メール の 署名欄、ML、SNS (mixi, twitter など)、友人 など個別に周知

リンク集作成 の概要

PPP ポータルサイト

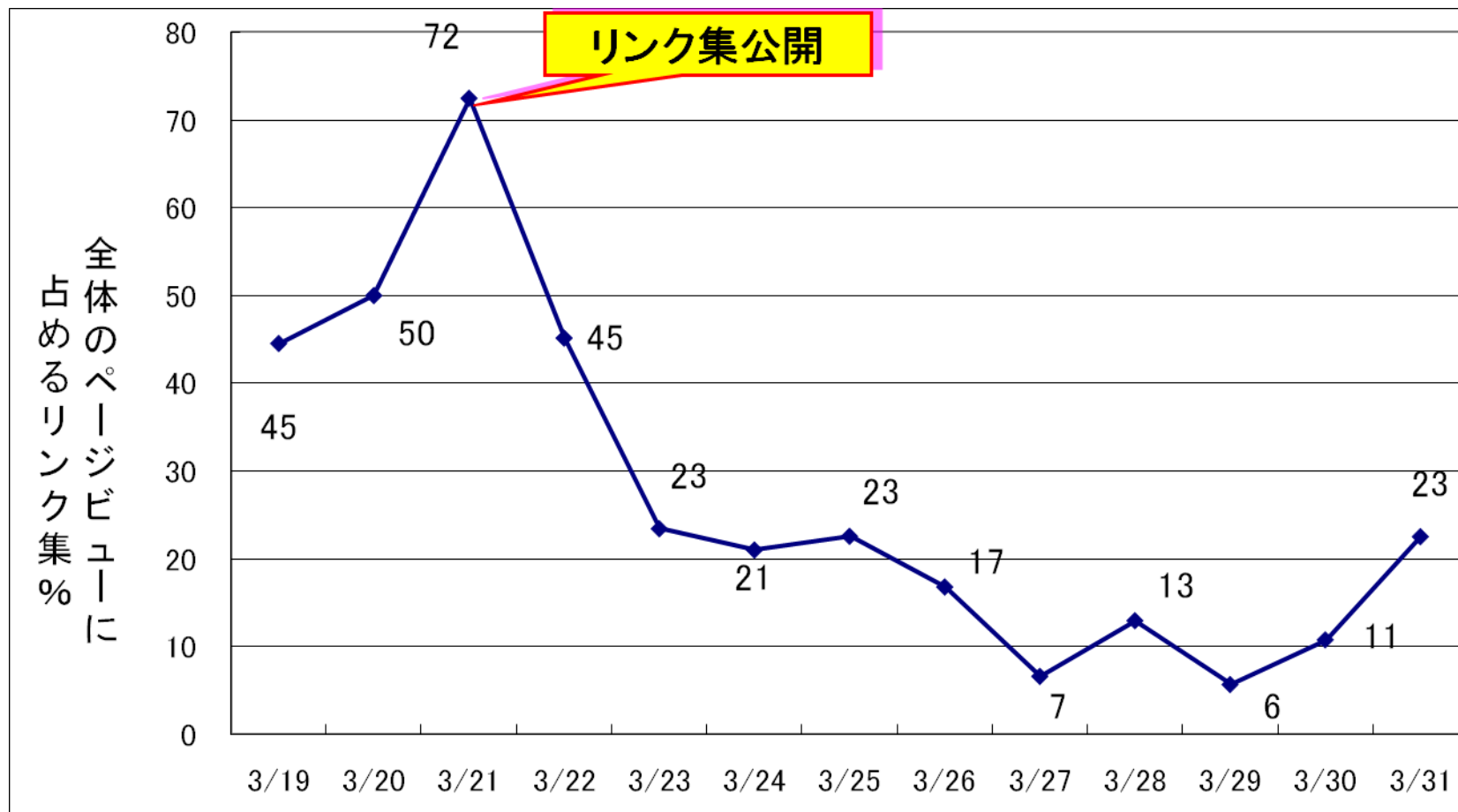


リンク集の概要と特徴

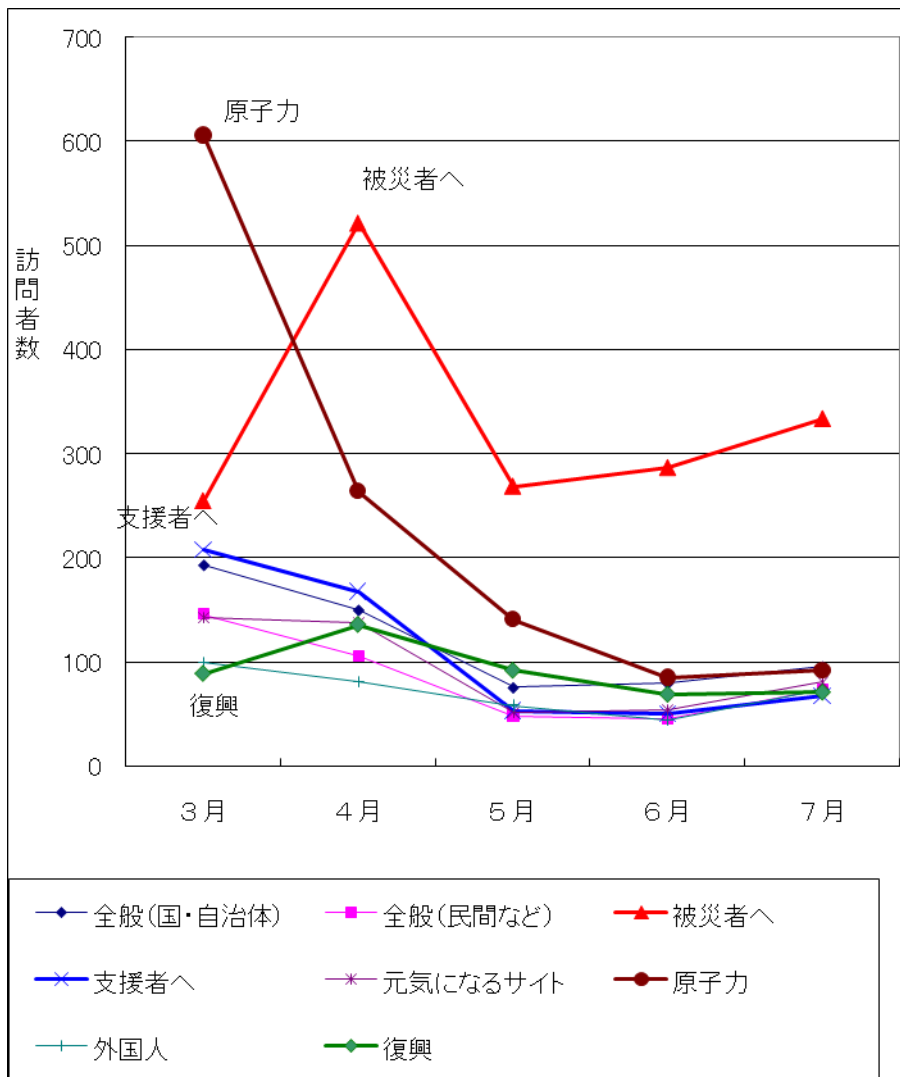
- 被災者と支援者の両方を対象とし、それぞれのニーズを想定
例) 震災弱者(障害者・外国人など)
- 災害関連情報が網羅的、精選
- 終了した活動について削除せず

<http://www.pppschoo.jp/>

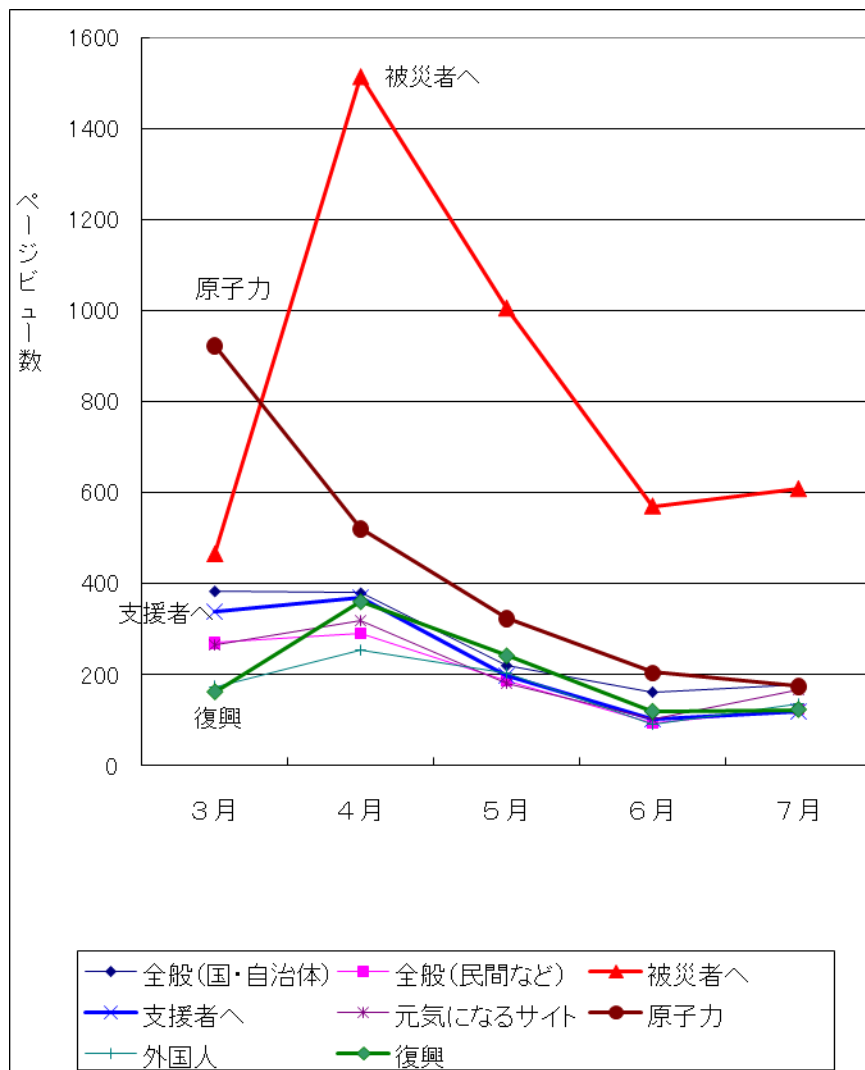
リンク集の評価 ～アクセス数～



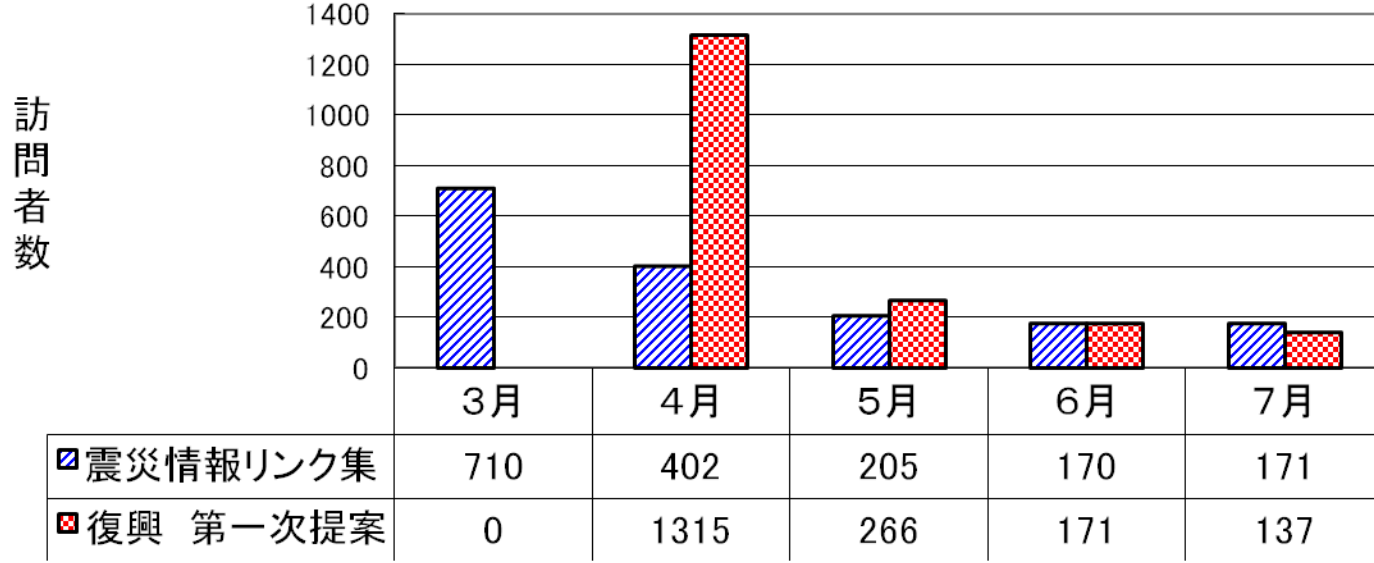
リンク集訪問者数の推移



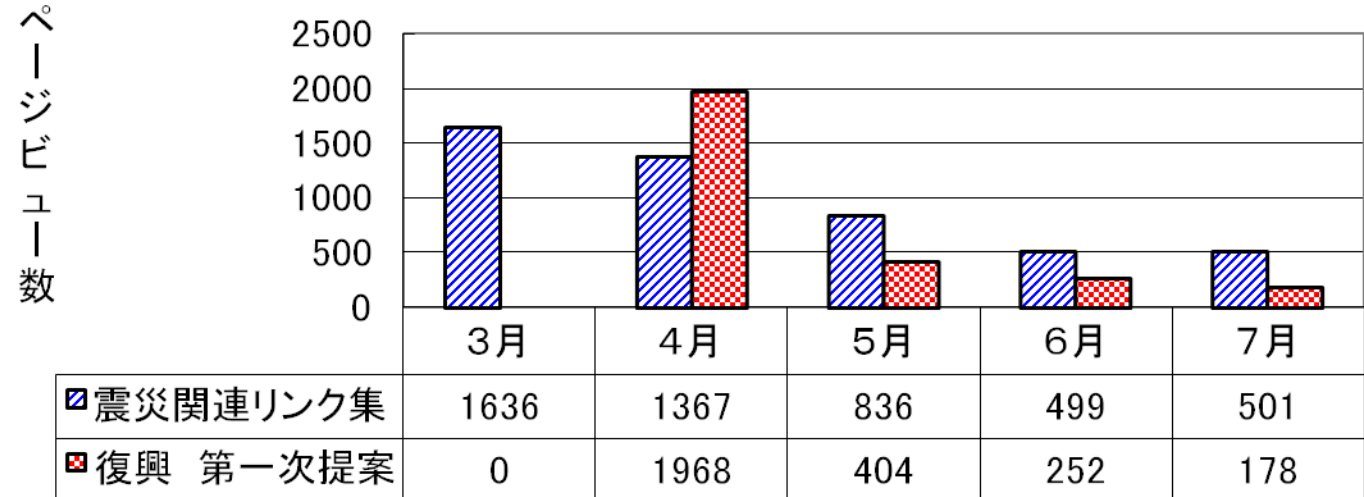
リンク集ページビュー数の推移



訪問者数の推移(リンク集と提案の比較)



ページビュー数の推移(リンク集と提案の比較)



リンク集の評価 ～利用者の声～

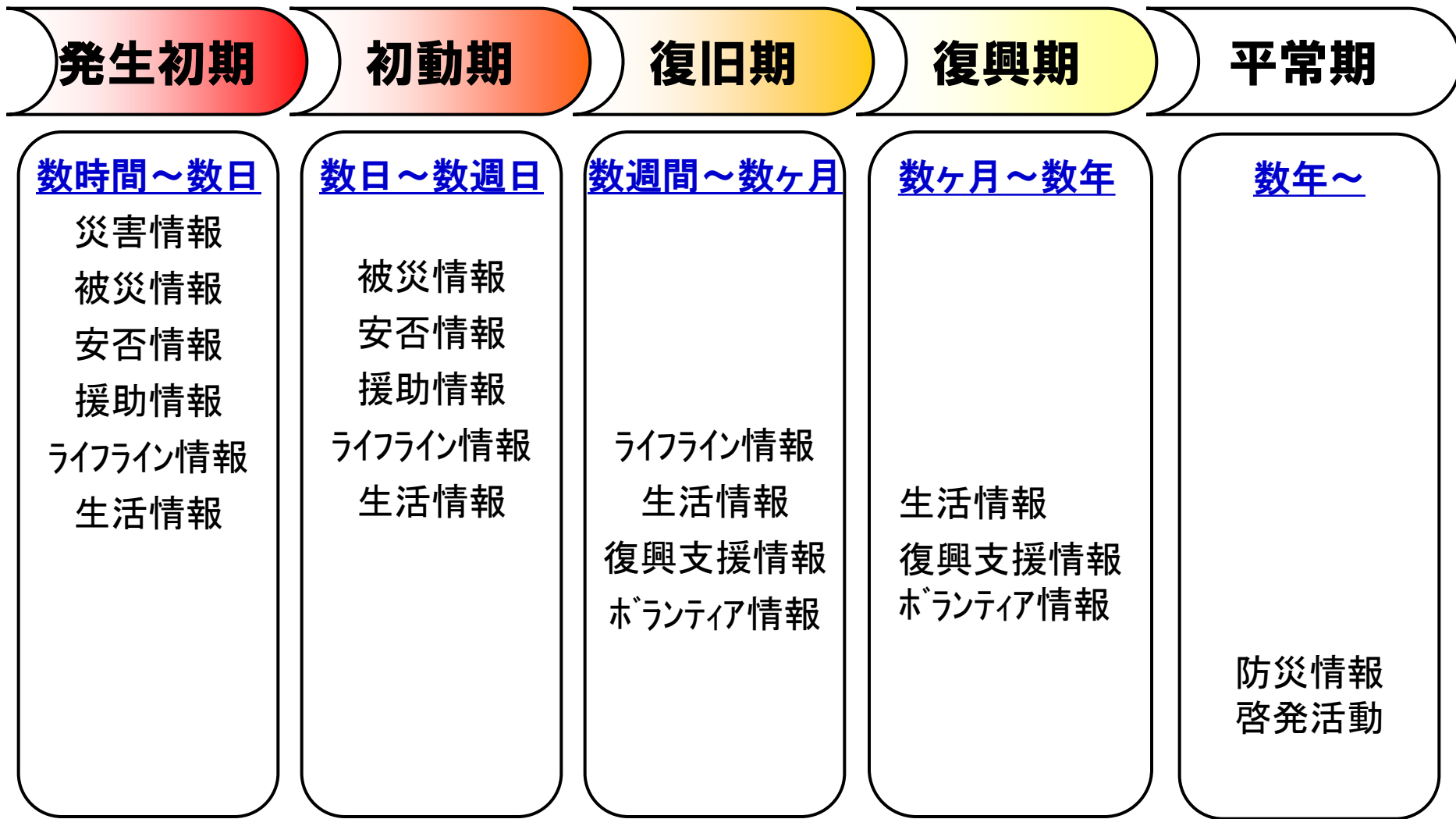
- ネットが使えるので、情報を効率的に得られて助かった。
(被災地にいる卒業生)
- 被災者や支援活動者の参考となった。
- 政府が定期的に更新する**公式情報**が便利。
- **放射線量**の最新データをいつも使っている。
- **介護**や**福祉**の情報が散在して調べ切れなかったが、リンク集がポータル的に使えた。
- **外国人向け**は来日した国連や元FRMA※の関係者に好評。
※連邦危機管理局(Federal Emergency Management Agency)全米10箇所に地域事務所を配置
- 研究をまとめる時、参考に使っている。

リンク集の課題と対応策

- リンク集の周知不足 ➡ 相互リンクやSNSの活用
- 情報の更新が不十分。(削除、追加等)
 - ➡ 時間経過とともに変化する「被災者(地)のニーズ」に沿った内容に更新すべき。
 - ➡ 更新の基準や構造変更をする。 (次ページの表参照)
- PPPセンターの独自性が弱い。
- リンク集が必要なのは災害が起こった瞬時から。
東日本大震災発生から10日かかった。 ➡ ➡ ➡ …

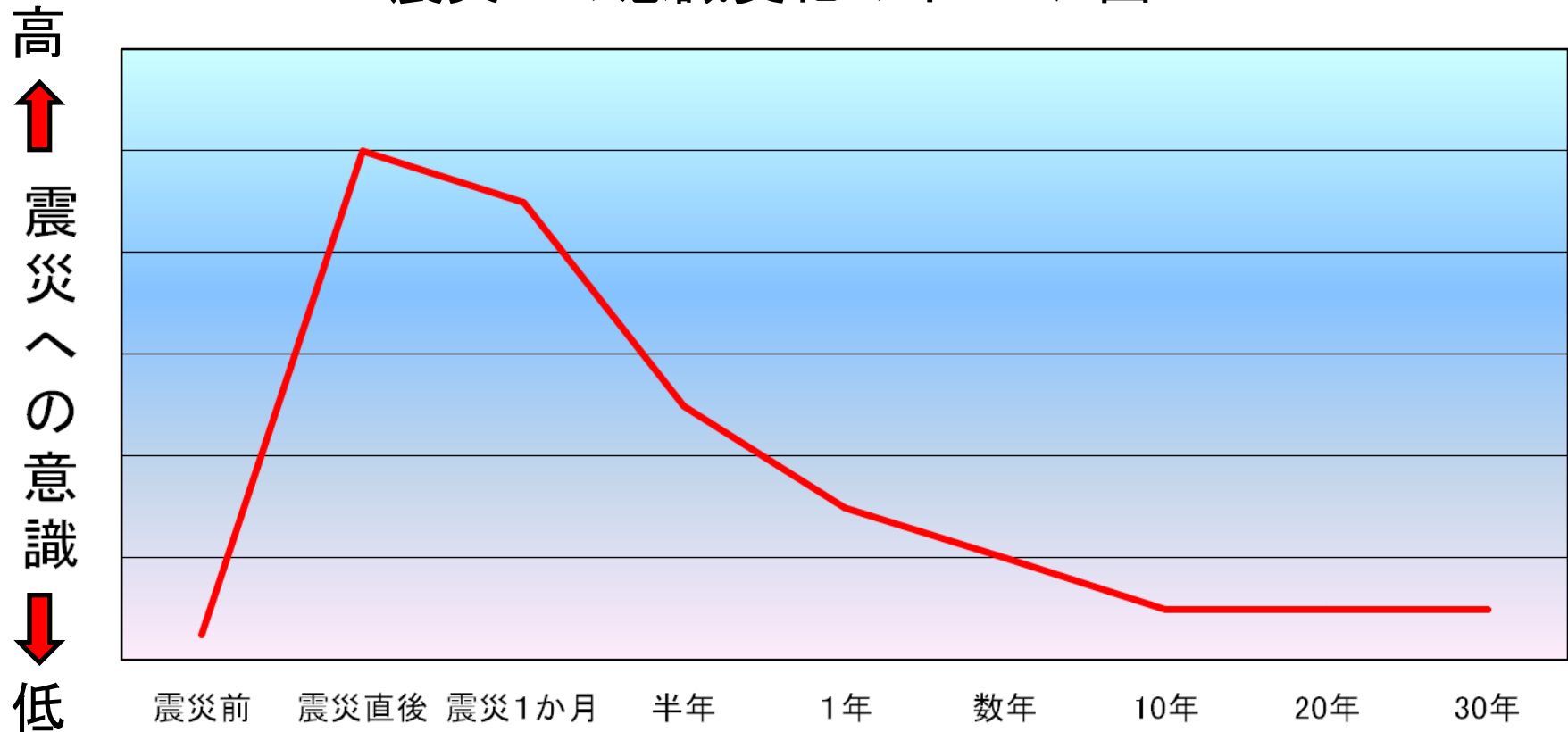
作る側も見る側も震災へのエネルギーは低下する。

被災者の必要とする情報の変化



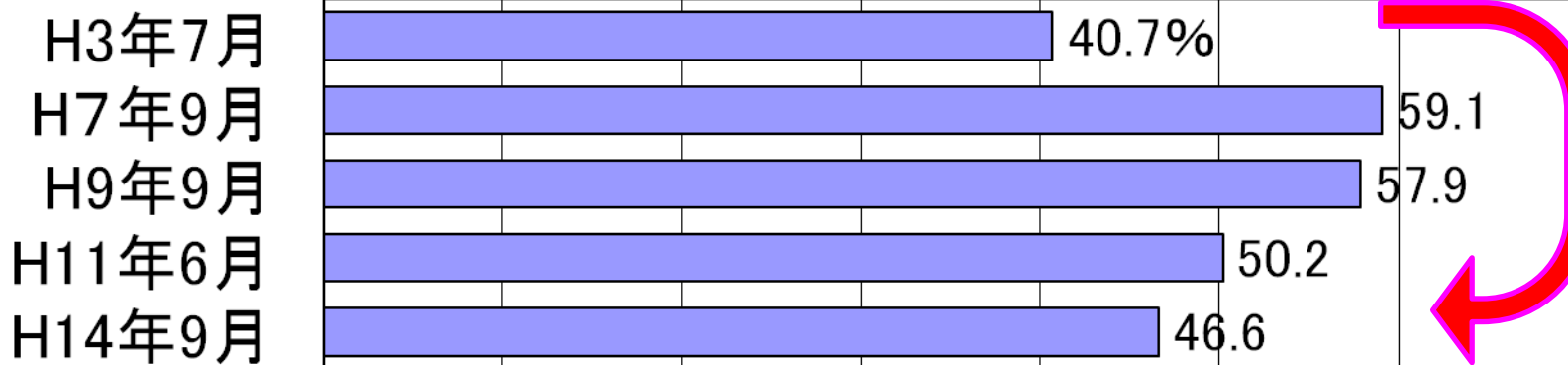
防災意識は風化する

震災への意識変化のイメージ図



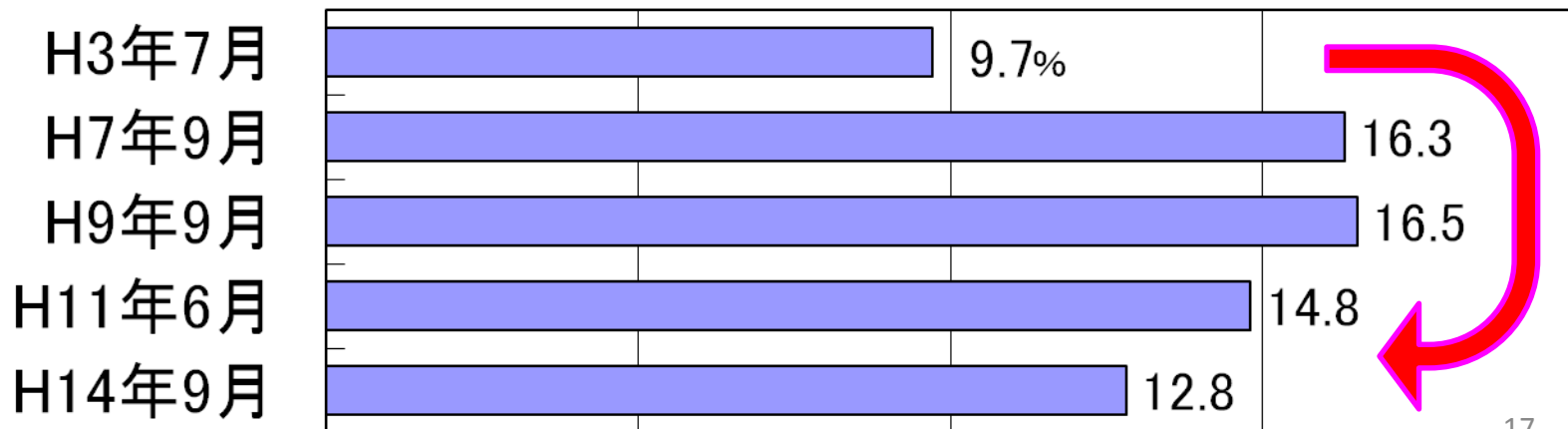
大地震に備えて「防災グッズ」を準備している

0 10 20 30 40 50 60 70



大地震に備えて家族との連絡方法を決めている

0 5 10 15 20



リンク集作成により得た結論

「明日の震災に役立つリンク集」の常設

- ▶ 平常時から、震災時に役立つリンク集が常設され、人々に周知されている。
- ▶ それぞれのリンク先が「明日の震災に役立つ情報」を管理している。

今後求められるリンク集

今後は、現在のリンク集を厳選・追加してく。

『**災害発生した瞬間から役立つリンク集**』を目指す。